

「スタートアップ社会実装推進事業」を開始

スタートアップから  
試作品開発・実証実験  
・トライアル導入の企画を募集

～横浜をフィールドに挑戦するスタートアップを強力に応援～

2022年11月10日  
市長定例記者会見  
説明資料

# 事業の趣旨

## 背景

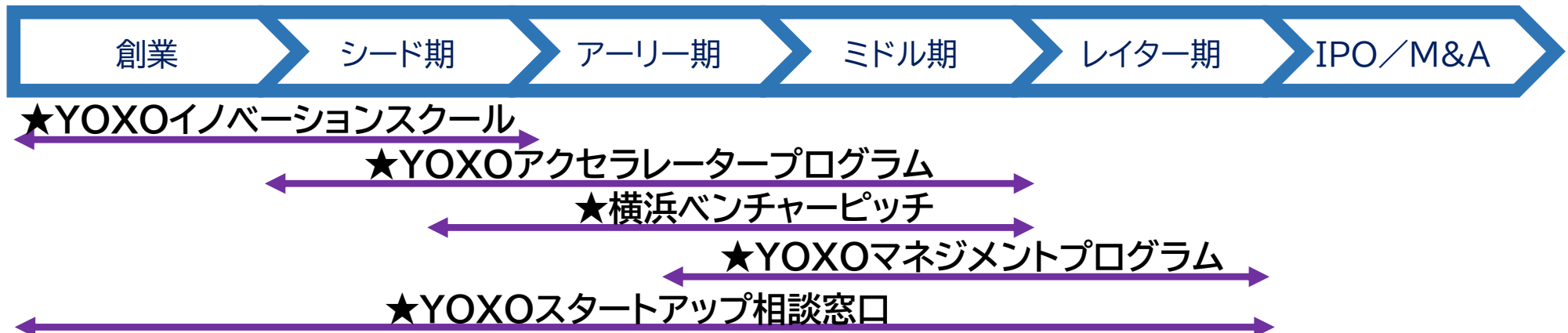
- ・現下の厳しい状況を乗り越え、  
横浜が成長・発展していくためには、  
成長性の高いスタートアップを数多く生み出していく必要がある
- ・関内地区に設置した  
スタートアップ支援拠点「YOXO BOX」を中核とした支援により、  
横浜市内で有望なスタートアップが創出されている



# 事業の趣旨

## 横浜市のスタートアップ支援の取組

・成長ステージに応じたプログラムの展開



新ビジネスでの起業を目指す方を  
対象とした起業講座(3か月)

成長を目指すスタートアップを  
対象とした約7か月の支援プログラム



スタートアップのピッチを通じた  
VC・企業等とのマッチング

# 事業の趣旨

## 横浜市のスタートアップ支援の取組

### 横浜市の目標と実績(令和元年～3年度の3か年)

【目標値】

【実績値(令和4年3月末)】

100億円

支援した企業が受ける民間投資額

120.4億円

100件

スタートアップの支援件数

270件

5,000名

ビジネスイベント参加者数

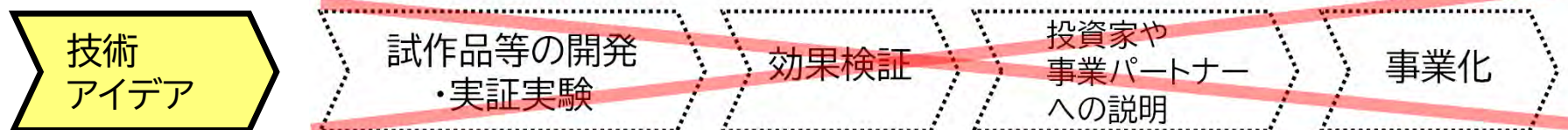
6,814名

# 事業の趣旨

## スタートアップが抱える課題

・市場獲得に向けてスピード感をもって事業化したいのに…

### ○資金・人材・設備がないから…



技術やアイデアを試作品や実証データの「カタチ」にできない  
→投資家や事業パートナーに説明できず、事業化まで進まない

### ○知名度や実績がないから…



製品やサービスを使ってもらえない  
→販路拡大や品質向上につながらない

# 事業の概要

・事業化のスピードを上げるため、一気通貫で伴走支援

## 支援メニュー

- 高い技術力を有する市内事業者とともに試作品をスピード開発
- 企画内容にあったフィールドの提案や、関係者との調整で実証実験を早期実現

## 支援メニュー

- 専門家や学識者の知見を活かしたアドバイス



## 支援メニュー

- サービスや製品の特性に応じた導入先の提案
- 希望する導入先との調整支援
- 導入実績の広報支援

## 支援メニュー

- 導入効果の検証に関するコンサルティング

・予算額：総事業費 1億5,000万円(9月補正により計上)

# スタートアップの事業例

空間認知の苦手さによる移動時の”迷い”や、  
”スマホのながら歩きの危険”を解決する、  
骨伝導を用いたデバイス・サービス



骨伝導により、「右です」「左です」の  
音声や振動で目的地まで案内

# スタートアップの事業例

工場や手術など、長時間の立ち仕事を要する現場で、  
 作業者の足腰の負担を軽減し、  
 業務効率を向上させるアシストスーツ





# スタートアップの事業例

## 防災備蓄品などの有効活用のための マッチングサービス



# 応募について

## 募集する企画

### スタートアップによる①、②の企画

①試作品等の開発・実証実験

②市内中小企業や横浜市役所でのトライアル導入

## 募集期間

令和4年11月14日(月)～11月30日(水)

→審査・選定を行い、12月下旬以降、事業実施～効果検証

<参考:企画1件あたりの事業費(想定)>

①試作品等の開発・実証実験:200万円～1,000万円

②トライアル導入:100万円～200万円